

令和 7 年度第 2 回八幡薬剤師会学術研修会のご案内

平素より、本会事業にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
今回の研修会は、調剤後薬剤管理指導料 2 に基づく研修として、下記の内容で研修会を開催いたします。受講のお申し込みは、5 月 16 日(金)までお願いいたします。

記

日 時： 令和 7 年 5 月 2 9 日 (木) 19:30～21:05

場 所： 八幡薬剤師会館および web 研修 (Zoom 配信)

内 容： 慢性心不全患者への多職種連携とフォローアップ
～2025 年心不全ガイドライン改訂を踏まえて～
JCHO 九州病院 薬剤部長 吉国健司

要 旨： 心疾患による死亡が悪性新生物(がん)に次いで第 2 位であり、特に心不全がその中で最も多いという現状は、非常に重要な問題である。高齢化が進む中で、心不全患者数が増加する「心不全パンデミック」が予想されていることから、今後の医療体制の整備が急務である。
近年、薬物治療や非薬物治療の進歩により、心不全診療は大きく変わりつつあるが、依然として多くの未解決の課題が残っている。心不全は多様な病因や病態を持つため、個々の症例に応じた適切な治療選択が求められているが、特に multimorbidity の患者や高齢者心不全では、治療選択がさらに複雑化している。心不全診療においては、生命予後の改善だけでなく、患者の QOL(生活の質)の維持・向上も重要な目標である。そのためには、患者教育や疾病管理、共同意思決定が不可欠である。患者が自分の病状を理解し、治療に積極的に参加できるようにすることが、治療効果を高めるための鍵となる。
本講演では、心臓リハビリテーション、多職種連携、地域連携をキーワードに、心不全診療の現状と今後の展望について述べる。これらの要素が相互に連携することで、より効果的な治療と患者支援が実現できると考えている。心不全患者の治療において、医療従事者が協力し合い、地域全体で支える体制を構築することが、今後の課題であり、目指すべき方向性である。

講師の吉国先生が循環器を担当執筆しております「薬局における疾患別対応マニュアル～患者支援の更なる充実に向けて～」が作成されましたのでご紹介いたします。下記アドレスよりご確認ください。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/5shippeiguide.html>

受 講 費： 正会員 (A 会員・B 会員) と学生：無料
直方鞍手薬剤師会会員：500 円
非会員 (正会員以外全て)：3,000 円

申 込 み： 【参加登録】八幡薬剤師会会員・八幡地区非会員・直方鞍手薬剤師会会員の方は、下記 URL または QR コードから日薬研修プラットフォームにお申込みください。



<https://nichiyaku.manaable.com/login>

※受講費を納められた直方鞍手薬剤師会会員・非会員の方には、プラットフォームよりメールが届きます。

受講費振込先：福岡ひびき信用金庫 本店営業部

普通 1073984 公益社団法人八幡薬剤師会

単 位： 日本薬剤師研修センター研修単位 1 単位

- ・Zoom へのログインは、必ずご自身のお名前をお願いいたします。
- ・19 時 30 分までにログインしていない方、途中退出の方、継続したログインが確認できない方、司会より退出の連絡がある前にログアウトした方は、受講単位の認定は行えませんので、ご注意くださいようお願いいたします。